

令和元年度の研修会などの主な活動

令和元年 11 月 7 日と 11 月 28 日の 2 回、都内区市町村立図書館と都関係機関(東京都議会図書館、首都大学東京図書館、特別区自治情報・交流センター、みどりの図書館、東京都江戸東京博物館図書室、東京ウィメンズプラザ図書資料室、東京都現代美術館美術図書室)の職員を対象に資料保全(製本)研修を行い、合わせて 44 名が受講しました。これは都立中央図書館が東京都の公立図書館として唯一持っている修理、製本や資料保存に関する知識・技術を少しでも東京都全体に広めていこうと、平成 15 年度から行っているものです。大変、人気のある研修会ですが、対応に限界があるため、参加者は、各自自治体・機関から原則として 1 名に絞っていただいで実施しています。保存や修理に関する基本的な考え方や知識を学び、身近にあるページの破れやノドの傷み、表紙の外れた本の修理などの実習を行い、正しい知識と基礎的技術の習得を目指しています(講師は資料保全室職員)。今までの研修会での主な質問と回答については、[保存・修理についてのQ&A](#)をご覧ください。

館内職員向けには資料保全(製本)研修を 7 月に行い、資料防災訓練(説明会)を、中央図書館で令和 2 年 1 月に行いました。(都立図書館 Facebook へのリンク参照)

そのほか、「図書館ツアー」の一環として、資料保全に特化した「本の修復見学ツアー」を 7 月 8 日に、「夏休み手作り和本体験ツアー」を 8 月 13 日に、「本の修復見学と和装本づくりツアー」を 3 月 2 日に行い、都民の皆様大変好評でした。

また、10 月 9 日の台風 19 号による水害で、首都圏はじめ各地で被害が発生しました。図書館も多く被災しましたが、それに関連してマスコミの多くが図書館の被害と資料の防災について取り上げました。その中で、都立図書館の資料防災の取組は先進的な例として紹介されました。

朝日新聞 10/20 <http://www.asahi.com/area/tokyo/articles/MTW20191021131710007.html>、東京新聞・中日新聞 10/28、日本経済新聞 10/29、読売新聞 11/19、TBS テレビ「N スタ」10/22、10/30 などです。また、朝日新聞「ひと」欄では、「水損した本を救う方法を広める図書館員」として、資料保全室の職員が紹介されました。
https://www.asahi.com/articles/DA3S14295417.html?iref=pc_rensai_long_50_article

なお、資料保全室の業務の見学や資料保存に関する問い合わせは 46 件ありました。



都立図書館の資料防災の取組を紹介する新聞



資料防災動画(YouTube で公開)